

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 2 でんぷん	植物の種子の中には、発芽や成長に必要な「でんぷん」という養分がたくわえられています。
問2	答え 3 肥料	植物に肥料をあたえると、葉の数が多くなり、肥料をあたえないときよりもよく成長します。
問3	答え 3 空気	種子を水の中に完全にしずめてしまうと、種子が空気にふれなくなってしまう。発芽には空気が必要なため、水が多すぎると発芽できなくなります。
問4	答え 1 ヨウ素液	でんぷんがあるかどうかを調べるためには、ヨウ素液という特別な液を使います。
問5	答え 1 根、茎、葉	「根・くき・葉になる部分」は、成長するとその名前の通り、植物の根、 ^{くき} 茎、葉になります。
問6	答え 3 でんぷん	種子の中にはでんぷんという養分が ^{ふく} 含まれており、これが発芽や成長のために使われます。
問7	答え 1 発芽	種子から芽が出ることを「発芽」といいます。
問8	答え 1 肥料をあたえないときよりも、葉の数が増える。	植物に肥料をあたえると、葉の数が多くなり、あたえないときよりもよく成長します。
問9	答え 1 青むらさき色	ヨウ素液はでんぷんに反応すると、青むらさき色に変化する性質があります。
問10	答え 1 必要ない	種子が発芽するために、光は必要ありません。水や空気、適した温度があれば、光がなくても発芽することができます。
問11	答え 1 水、空気、適した温度	種子が発芽するためには、水、空気、適した温度の3つの条件がすべてそろう必要があります。
問12	答え 1 空気	種子が発芽するためには、水や適した温度のほかに、空気が必要です。土や肥料、日光は発芽した後の成長には役立ちますが、発芽するためだけなら必要ありません。
問13	答え 2 発芽や成長のために使われて少なくなる。	種子の中のでんぷんは、発芽して根・くき・葉が育つにつれて、発芽や成長のために使われて少なくなります。
問14	答え 1 葉の数が増えなくなり、くきがあまりのびなくなります。	肥料をあたえないと、植物は葉の数が増えなくなり、くきがあまりのびなくなってしまう。
問15	答え 4 水だけのえいきょうを正しく比べるため。	調べたい条件（水）以外の条件を同じにすることで、水があるときとないときの ^{ちが} 違い（水の ^{えいきょう} 影響）を正しく調べることができます。
問16	答え 1 根・くき・葉になる部分	種子の中にあつて、発芽したあとに成長して植物の根、 ^{くき} 茎、葉になる部分のことです。